

本校の地域連携・地域交流

富士河口湖町立大嵐小学校

地域を愛する心を育てる ～ふるさと学習を通して～

1. 目的と経緯

- ・本校では、生活科や社会科、理科の授業で地域を回り、地域の人々や自然について学習している。
- ・毎年4月25日に行われる天神社祭典には、「ふるさと学習」として全校で参加している。コロナの期間には参加を見送っていたが、令和5年度より再開し、今年度で復活後3回目を迎えた。
- ・祭典の前には、町の生涯学習課から講師を招聘して学習会を実施して地域の歴史を学び、地域の良さを見出し、地域に貢献する意欲を高める機会としている。



2. 内容

- ・児童は通常通り登校し、朝の会終了後に全校で多目的室に集まり、富士河口湖町生涯学習課の杉本悠樹さんの講演を聞いた。お話の内容は、「大嵐」の地名の由来、この地域が鎌倉～江戸時代に果たしていた役割や、当時の様子が見える建物や場所の紹介などである。また、児童が祭典の中で担ぐ「神輿」や、「神輿が通る道」についても、クイズを出しながら説明してくださった。
- ・講演後には全校と職員、保護者が列になって神輿庫前に移動して出発式に参加した。その後、大嵐天神社まで山道を登り、区役員や氏子と一緒に参拝した。
- ・その後、ふもとにある出発地点まで行き、行列を作って地域内を練り歩いた。行列の先頭には、賽銭を入れる大きな箆を持つ児童や、柄の長い竿灯を持ったりする児童が並び、その後ろに神輿をかつぐ児童たちが続いた。児童達は保護者からのサポートや声援を受けて、「わっしょいわっしょい」と声を挙げながら地域の通りを元気に練り歩いた。



3. 成果と課題

- ・年度の始めにこの行事を経験することにより、新入児が地域の一員として認められる他、全校児童が地域のことを知るための良い機会である。また保護者も地域のメンバーとして参加することによって地域を知ることができる。
- ・祭りは地域の行事であるため、学校が地域学習の場として活用することを基本としながらも、どのように関わっていけばよいのかについて、今後も検討しつつ取り組んでいきたい。